

科目名	芸術（美術）Ⅱ Art (Fine Arts) Ⅱ			担当教員	永井 崇幸 (窓口教員：坂本具償)		
学 年	2年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	実技	科目番号	15120023	単位区分	履修単位
学習目標	構想画，デザイン画，あらゆる表現方法による絵画表現を通して，個々の創造力を伸ばし，豊かな感性と心情を養う。イメージを膨らませて，自主的に創造する価値と喜びを感じさせる。						
進め方	絵画表現を通して，独自のイメージを膨らませ，自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格基準			
	1. 構想画 － 未来都市を描く（10） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに沿ったイメージは，どのようにして引き出すことができるかを考える。</li> <li>・CGの発達により，意識のないままに仮想現実（バーチャリアリティ）があふれていることを認識する。それらのイメージを再構成して，独自のイメージとして表現することができる。</li> <li>・幾つかの制作条件のもとで，未来の都市空間を豊かなイメージを膨らませて表現することができる。</li> <li>・直線・曲線を使い分けて建造物と都市空間を表現することができる。</li> </ul> (A-1)			
	2. デザインと描写 はめ絵「理想の世界」 － 定められた空間の構成（10） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でデザインする外形を決定する。</li> <li>・指定された条件下で定型の形を生かして表現することができる。</li> <li>・デザイン的な色面構成の中に精密な描写をすることができる。</li> <li>・制作に必要な資料を準備し，テーマに沿った表現ができる。</li> </ul> (A-1)			
3. 自由制作（10） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の制作に必要な参考の資料を準備する。</li> <li>・あらゆる絵画表現手段を用いて作品制作する。</li> <li>・自分の定めたテーマを感性豊かに表現することができる。</li> </ul> (A-1)				
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。 学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%），制作態度（10%）を考慮して総合的に評価する。						
履修条件	美術Ⅰを履修している。						
関連科目	芸術Ⅰ（美術）（1年） → 芸術Ⅱ（美術）（2年）						
教 材	1年時購入のスケッチブックと絵の具（アクリルガッシュ）を使用。						
備 考	自主的に美術館・ギャラリーなどの鑑賞を奨励。鑑賞レポートは随時受け付け，評価の対象にします。 単位追認は，未提出・未完成の作品を全て完成させて提出する。						